Insight Writing 発刊にあたって

これまで多くの学校で『Vision Quest Insight 英文法・語法・熟語問題集』をご採用いただき，心より御礼申し上げます。

付属データ「Insight Writing」につきまして，全国の先生方から「生徒に配付しやすいよう，ぜひ冊子の形にしてほしい」という温かいご要望を数多くお寄せいただきました。本書は，そうした先生方のお声に応え，同データを 1 冊の独立した問題集として使いやすく整え，さらに内容を増強したものです。

本書の大きな特長は，『Vision Quest Insight』と文法・語法事項や例文を連動させている点にあります。Insight での「文法・語法・熟語のインプット」を，本書で「英作文によるアウトプット」へとスムーズにつなげ，知識を確実に定着させる「理想的な学習サイクル」を実現します。大学入試問題を演習する機会も設けています。また，Insight の参照ページを明記しているため，生徒は既習の表現を手がかりに，心理的ハードルを感じることなく英作文に取り組むことができます。

主な活用法として，次の 2 つの方法をご提案いたします。一つ目は，『Vision Quest Insight』の文法編をある程度学習した段階から本書を併用し，復習と応用を同時に進める方法です。二つ目は，学習の初期段階から二冊を並行して進める方法です。

先生方の指導計画に合わせて柔軟にご活用いただき，生徒のみなさまの確かな英語力向上にお役立ていただければ幸いです。

全国の先生方から寄せられたご反響により，冊子化が実現しました。
皆様の温かいご支持に，心より感謝申し上げます。

Insight Writing もくじ

はじめに …… p. 1
もくじ …… p. 2
本書の構成と使い方 … 本冊 P. 1-2 … p. 3
解答編の使い方 … 本冊 P. 3 …… p. 5
主な文法項目・表現 … 本冊 P. 4-5 … p. 6
英作文のいろは … 本冊 P. 6-7 …… p. 8
Unit 0　中学英語の復習 … 本冊 P. 8-10 … 14
Unit 1　時制・完了形 … 本冊 P. 12-15 … 34
Unit 2　受動態 …… p.38
Unit 3　助動詞 …… p.42
Unit 4　仮定法 …… p.46
Unit 5　不定詞 …… p.50
Unit 6　動名詞 …… p.54
Unit 7　分 詞 …… p.58
Unit 8　関係代名詞 … 本冊 P. 16-19 … p.62
Unit 9　関係副詞・複合関係詞 …… p.66
Unit 10　接続詞（1） …… p.70
Unit 11　接続詞（2） …… p.74
Unit 12　比 較（1） …… p.78
Unit 13　比 較（2） …… p.82
Unit 14　代名詞 …… p.86
Unit 15　主語と動詞の一致など …… p.90
Unit 16　動詞の語法 … 本冊 P. 20-23 … .94
Unit 17　名詞の語法／数量表現など … p.98
Unit 18　形容詞／副詞 …… p.102
Unit 19　前置詞や名詞を含む熟語 … p.106
Unit 20　副詞句／群前置詞など …… p.110
Level 4 の 基礎トレ 一覧 … 本冊 P. 24-25
自由英作文のいろは … 本冊 P. 26-27 … 118
別冊解答編のご紹介は P. 28-33

本書の構成と使い方

本書の構成

全 20 ユニット(Unit 1〜15 は文法メイン，Unit 16〜20 は語法メイン)で構成。
各ユニットは以下のような「理解 → 練習 → 応用 → 活用」のステップ学習方式。*◎：ねらい

Level 1
例文解説
・文構造の理解 ・例文解説 ・類題部分英訳
◎仕組み/知識を理解

Level 2
基礎トレ
・口頭英訳センテンス ・口頭英訳チャンク
◎瞬時に言えるまで 何度も練習

Level 3
定着確認
・例文の類題演習
◎基礎トレの成果確認

Level 4
実戦問題
・入試過去問演習
◎高度な問題で応用

Level 5
自由英作文
・入試過去問演習 ・Tips ・表現レスキュー
◎まとまりのある 文章の中で活用

＊**1-1** などの小文字の番号は，『Vision Quest Insight』の問題番号です。

Level 1 例文解説 —— 理解する

❶ My father often shops online. 「父は よく ネットで 買い物をする。」
1-1 S V S V

この「〜する」は〈**現在の習慣**〉なので現在形。**現在形は「現在を含む広い範囲の時」**を表す。そこから〈現在の習慣〉や〈現在の状態〉，〈一般論〉，〈変わらない事実や真理〉，〈確定した未来の予定〉などの意味を表す。
often は「しばしば」「〜することが多い」などにも対応する。
この online は副詞「ネットで」。online shopping「オンラインショッピング」は〈形容詞＋名詞〉の表現。

(1) 地球は太陽の周りを回っている。The Earth _____

Level 2 基礎トレ —— 練習する

① **口頭英訳(センテンス)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

1 □	父はよくネットで買い物をする。1-1	My father often **shops** online.

② **口頭英訳(チャンク)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

1 □	(1 枚の)ビニール袋	a plastic bag

Level 3 定着確認 —— 演習する

(1) 母はネットでよく映画を見ている。

_____

Level 4 実戦問題 —— 応用する

(6) 私が大学生のころ，アパート暮らしの友人が何人かいた。 (2024 九州歯科大)

_____

Level 5 自由英作文 —— 活用する Unit 1

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples. "What have you enjoyed about high school?" (2024 共立女子大*)

STEP 1 次のモデル解答を読み，問いに答えなさい。

I (1) [ア enjoyed / イ have enjoyed / ウ will enjoy] my time at high school thanks to my good friends. (2) 文化祭の前に，私たちは一緒に教室の飾り付けをしました and had a great time. Also, we sometimes (3) _____ after school. These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.

■ **Tips** ——『主張・理由・具体例の順に書こう』

主張(最初に問いに答える)	I have enjoyed my time at high school ... → 時制を問いと合わせる。
理由や根拠を述べる	... thanks to my good friends. → 理由をやや抽象的に示す。
具体例・詳細を述べる	We often laugh and talk together during lunch breaks. → good friends の内容を具体化：昼休みに一緒に笑ったり話したり

本書の特長　「正確な英文をすばやく言える・書ける」ようになるための 4 つのサポート

① 文構造の理解 —— Level 1

・文の核(主語や動詞など)を理解してから例文を覚えよう。
・文構造を理解せずに暗記しても，応用が利かず，すぐに忘れてしまう。

② 口頭英訳（基本表現の口頭練習）—— Level 2

・「時間をかければ書ける」だけでは英語を使えるとは言えない。「瞬時に言える」まで練習しよう。
・細部まで正確に覚えよう。a や the などの冠詞の有無，単数/複数などにも注意すること。

③ 自由英作文への橋渡し・Tips —— Level 5

・まずはモデル英文を参考にして，まとまりのある文章を書いてみよう。
・論理的でまとまりのある文章を作るコツ(Tips)を意識しながら英文を書こう。

④ 答え合わせ後の練習（基礎トレ）—— 解答解説 Level 4

・解答解説で答え合わせをした後の「復習の質」が成長を左右する。
・Level 2 の基礎トレ(口頭英訳)と同様に，瞬時に言えるまで反復練習しよう。

本書の使い方

決まった使い方はないが，「理解→練習→応用→活用」のサイクルを意識して取り組んでほしい。
「初めて学ぶ，あるいは基礎の理解に不安がある」人は，Level 1 の例文解説から始めよう。
「理解しているが，うまく使えない」人は，Level 2 の口頭英訳から。
「例文や表現は覚えた。瞬時に言える」人は，Level 3 の定着確認へ。
「入試過去問で腕試しをしたい」人は，Level 4 の実戦問題へ。
「和文英訳はバッチリ」という人は，Level 5 の自由英作文でまとまりのある文章を書こう。

ライティングでは，頭で「理解する」だけでは不十分である。実際に手を動かして書き，口に出して言おう。こうしたアウトプットを通して初めて「書ける」ようになる。本書がボロボロになるまで，徹底的に練習し，見た瞬間に言える・書けるようにしてほしい。

学習計画・ペース

現在の英語学習の状況に応じて，自身で計画を立てて取り組もう。
以下の表に日付や✓などを書き入れて可視化し，自己管理しよう。

U/L	Level 1	2	3	4	5
Unit 1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

U/L	Level 1	2	3	4	5
Unit 11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

解答編の使い方

解答編を使う前に

「問題を解いた後が本番である」

誰もが一度は経験したことがあると思うが，次のような“勉強”では十分に力はつかない。
① 答え合わせをしない，② 解説を流し読みする，③ 解説を読んだ後に何もしない

なぜそうなってしまうのか，心理学の視点から原因を考えてみよう。原因を知ることで，その対策を立てやすくなるはずだ。　　*『 』は心理学の用語

① なぜ，答え合わせをしないのか？

—— 自分の解答が間違っていることが怖い，悪い評価を避けたいから。 『自己防衛動機』

② なぜ，解説を流し読みしてしまうのか？

—— 自分の考えや理解と矛盾する情報を無意識にスルーしてしまうから。 『確証バイアス』
—— 自分の認識と異なる内容に対し，心理的ストレスを感じるから。 『認知的不協和』

③ なぜ，解説を読んだ後に何もしないのか？

—— 読んだだけで「できる」と錯覚してしまうから。 『流暢性の幻想[錯覚]』
—— 能動的に手を動かすなどの活動を避けてしまうから。 『努力回避傾向』

ではどうすればよいのか。
まず，「**ミスは成長の源**」と考え，「**ライティング力は確実に伸びるもの**」と理解しよう。
その上で，以下の①〜③を十分な時間を確保して実践すること。

① 答え合わせをする……あらかじめ学習計画の中に，答え合わせの時間を組み込んでおく。
② 解説を１つひとつ丁寧に読む……☑やコメントなどを書き込みながら読む。音読する。
③ 解説を読んだ後，学んだことの定着を図る……基礎トレをする。白紙に書き出す。もう一度解く。

解答編の使い方

Level ごとに以下の手順で学習を進めるとよい。

1. 答え合わせ ：自分の解答と模範解答を照合し，赤入れする（「赤」は成長の源！）。
2. 解説熟読 ：各設問の□(ポイント解説)を読む。ポイントを完全に理解したら☑を入れる。
3. 白紙勉強法 ：理解したポイントを白紙に書き出す。 ＊Level 4 では「基礎トレ」も行う。
4. 解き直し ：少し時間を置いてから，同じ問題を解き直す。

繰り返しになるが，「**問題を解いた後が本番である**」。
この学習プロセスを着実に重ねることが，あなたの英語力を大きく伸ばすだろう。

Unit 8　関係代名詞

▶ Insight 191-1〜222-2

Level 1 例文解説 —— 理解する

❶ There are educational apps that [which] make learning fun.　「学習を 楽しく する 教育アプリが ある。」
191-2　V　S　S′　V′　O′　C′　O′　C′　V′　S　V

日本語では，「学習を楽しくする」が「教育アプリ」を前から修飾するが，英語では〈修飾される名詞(＝**先行詞**)＋その名詞の説明文(＝**関係詞節**)〉となる。➡ 作り方：「学習を楽しくする教育アプリ」

① 名詞＋その名詞を含む節を作る　→ educational apps ＋ educational apps make learning fun
② 先行詞と同じ名詞を関係代名詞に替える → educational apps that [which] make learning fun

(1) その国では 18 歳以上の人は誰でも投票できる。Anyone _____

❷ You can find the information (that [which]) you need online.　「君が S′ 必要な V′ 情報は O
192-1 S　V　O　O′　S′　V′　ネットで 見つけることができる V。」

➡ 作り方：「君が必要な情報」

① 名詞＋その名詞を含む節を作る　→ the information ＋ you need the information
② 先行詞と同じ名詞を関係代名詞に替える → the information ＋ you need that [which]
③ 先行詞の直後に関係代名詞を移動する　→ the information that [which] you need　この that[which]は省略可

(2) ヨーロッパにはいつか訪れたい国がたくさ

There _____

「どう文を作るか」の思考プロセスを明示。文構造を論理的に理解し，感覚に頼らない英作力を育成して，入試での失点を防ぎます。

❸ I have a friend whose brother is stu
193-1 S　V　O　S′　V

➡ 作り方：「お兄さんがオーストラリアに留学している友達」

① 名詞＋その名詞を含む節を作る　→ a friend ＋ a friend's brother is studying in Australia
② 先行詞と同じ名詞を関係代名詞に替える → a friend whose brother is studying in Australia

(3) 田舎では，戸が開いている家をよく見かける。

In the countryside, it _____

❹ It is easy to find what you are looking for online.　「探しているものをネットで 見つけるのは S 簡単 C だ V。」
208-2 V　C　S　(v)　(o) O′　S′　V′

「探しているもの」は，主語に一般論の you を補い，what you are looking for と表す。*× for what S′+V′は不可。
「S′+V′なもの/こと」what S′+V′は節全体で名詞節となる。ここでは find の目的語になっている。
かつ，what 単体では what S′+V′の節の中で名詞の働きをする。ここでは for の目的語になっている。

(4) 君が言ったことをずっと考えている。I've _____

❺ Thanks to your support, I've become what [who] I am today.　「皆さんの応援があったからこそ，
211-1　S　V　C　C′　S′ V′　今の私が C ある V のだと思います。」

「今の S」は what S is (today/now)で表せる。「過去の S/以前の S」は what S was / what S used to be となる。

(5) 今日の日本は 30 年前とは違う。 _____ thirty years ago.

Level 2 基礎トレ —— 練習する

① **口頭英訳(センテンス)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

1 □	学習を楽しくする教育アプリがある。191-2	There are educational apps **that** [**which**] make learning fun.
2 □	君が必要な情報はネットで見つけることができる。192-1	You can find the information (**that** [**which**]) you need online.
3 □	お兄さんがオーストラリアに留学している友達がいる。193-1	I have a friend **whose brother** is studying in Australia.
4 □	探しているものをネットで見つけるのは簡単だ。208-2	It is easy to find **what** you are looking for online.
5 □	皆さんの応援があったからこそ，今の私があるのだと思います。211-1	Thanks to your support, I've become **what** [**who**] **I am** today.

② **口頭英訳(チャンク)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

1 □	私たちの人生をより豊かにする	make our lives richer
2 □	私が将来やりたいこと	what I want to do in the future
3 □	10 年後の私	what I will be in ten years
4 □	A を考える	think about A
5 □	私が今日できること	what I can do today
6 □	A を B まで延期する	put off A until B
7 □	本を読むことで[を通して]	by [through] reading books
8 □	感情を経験する	experience emotions
9 □	海外で活躍する　*2 通り	succeed abroad / play an active role abroad
10 □	A を想像する	imagine A
11 □	現代社会では	in modern society
12 □	A と B を見分ける[区別する]	distinguish A from B
13 □	環境問題（全般）	environmental issues [problems]
14 □	生物多様性	biodiversity
15 □	A についての意識を高める	raise awareness of A

Level 3 定着確認 —— 演習する

(1) 人生をより豊かにしてくれる本がある。

(2) 君が探している答えはネットでは見つけられないだろう。

(3) 両親が医者の友達がたくさんいる。

(4) 将来やりたいことを見つけるのは簡単ではない。

(5) 10 年後の自分を考えてみてください。

Level 4 実戦問題 —— 応用する

(6) きょうできることをあすに延ばすな。 (2023 愛媛大)

(7) 本を読むことで，今

前ページの Level 2 で学んだフレーズと，脚注の言いかえや発想のヒントを掛け合わせ，難解な和文英訳も書き上げることができます。「書ける！」という成功体験が生徒の自信を引き出します。

(8) 将来，海外に出て活躍したいのならば，自分が「なりたい姿」をイメージすることが重要になる。 (2025 奈良教育大)

(9) 現代社会では，自分が本当に必要とするものとそうでないものを見分けられることは大事である。 (2025 津田塾大)

(10) 僕たちにできる重要なことの一つは，環境問題と動物の多様性についての意識を高めることだよ。 (2021 同志社大)

つまずきレスキュー

(3)「多くの友達を持っている」　(8)「海外で活躍する」。image は名詞。動詞は？　(10)「生物多様性」でよい

Level 5 自由英作文 —— 活用する

Unit 8

As a student, what do you think the good points and bad points are of using artificial intelligence (AI), in education? Write your answer in English in about 60 words. (2024 名古屋市立大*)

STEP 1 次のモデル解答を読み，問いに答えなさい。

As a student, I think using artificial intelligence in education has both advantages and disadvantages. One advantage is personalized learning, (1) [ア who / イ which / ウ that] allows students to study at their own pace and receive instant feedback. On the other hand, (2) AI に依存しすぎている生徒 may lose the (3) _____.

(1) 下線部(1)の中から最も自然なものを選び，記号で答えなさい。 _____

(2) 下線部(2)の日本語を自然な英語に訳しなさい。

_____

(3) 下線部(3)の空所に 3 語以上 7 語以内の適切な英語を書き入れなさい。

... may lose the _____.

(4) (1)〜(3)の答え合わせをした後，完成したモデル解答を，意味を確認しながら読みなさい。

STEP 2 あなた自身の解答を書きなさい。モデル解答で使われている表現を参考にしても構いません。

_____

_____

_____

_____

_____

_____

_____

テーマに沿って，意見を構築するための表現をインプット。
その枠組みを用いて説得力のある英文を書く力を育てます。

■ Tips ——『利点・欠点をわかりやすく述べよう』

利点	an advantage / a good point / a positive aspect / a strength (強み) / a benefit (利益)
欠点	a disadvantage / a bad point / a negative aspect / a drawback / a shortcoming (足りない点)
構文： A allow B to *do*「A のおかげで B は〜できる」⇔ A prevent B from *do*ing「A のせいで B は〜できない」	

表現レスキュー

□「生成 AI」generative AI　□「批判的に考える」think critically　□「画像を生成する」generate an image
□「AI に指示を出す」prompt the AI　□「効率よく情報を集める」gather information efficiently

Level 4（解答編）の 基礎トレ 一覧

Unit 1〜20 の Level 4 で扱った「基礎トレ」をすべてまとめました。20 課×12 項目で合計 240 個あり，いずれも重要な表現です。「できる！」を増やすために，**自己テスト**と**分散学習**に取り組みましょう。

Unit 1

口頭英訳：日本語を瞬時に英訳。スラスラ言えるまで練習。**読んで終わりにしない。「できる！」を増やそう。**

1	私が大学生の頃	when I was in college	7	我々の人間関係	our relationships
2	V する人がいる *一般論	some (people) V	8	A に変化をもたらす	bring about changes in A
3	科学のおかげで	thanks to science	9	SNS 上の/で	on social media
4	私たちの日常生活	our daily lives	10	私たちの生活環境	our living environment
5	駅前の/で	near the station	11	A に対して行動を起こす	take action against A
6	アルバイトをする	work part-time	12	悪化する	get worse

Unit 2

1	様々な競技会	various competitions	7	A を褒める	praise A
2	A(行事など)が行われる	A take place	8	S は幸せそうに見える	S look happy
3	ほとんどの洋服	most clothes	9	自然を支配する	control nature
4	A を捨てる	throw A away	10	技術で[を用いて]	with technology
5	伝統医療	traditional medicine	11	文化的多様性	cultural diversity
6	先住民	native people	12	S が消えつつある	S is disappearing

Unit 3

「瞬時の英訳」が英作文を盤石にします。問題を解いた後の「分散学習」と瞬発力トレーニングで，アウトプット力を鍛え上げます。

1	化学実験	a chemical experim			
2	実験を行う	do an experime			
3	細心の注意を払う	pay close attention			
4	集中を欠く	lose *one's* concentration	10	名作（＝古典文学）	a classic (novel)
5	世界を平和にする	make the world peaceful	11	その経験から	from the experience
6	口角を上げる(＝微笑む)	smile	12	何か価値のあるもの	something valuable

Unit 4

1	S は注意深い	S is careful	7	仕事を得る	get a job
2	けがをする	be [get] injured	8	A に真剣である	be serious about A
3	その事故で	in the accident	9	A に真剣に取り組む	work hard on A
4	たくさんのアドバイス	a lot of advice *不可算名詞	10	家をきれいにする	clean the house
5	S は成功している	S is successful	11	A を処分する[捨てる]	get rid of A / throw away A
6	未来を見る	see the future	12	必要ないもの	unnecessary things

Unit 5

1	家族の一員[一人]	a family member	7	私の人生には	in my life
2	お互いに助け合う	help each other	8	A が起こる	A happen
3	政府と企業	governments and companies	9	困難を乗り越える	overcome difficulties
4	〜する責任がある	have a responsibility to *do*	10	〜する方法　*2 通り	how to *do* / a way to *do*
5	正しいことをする	do the right thing	11	私の全力を尽くす	do my best
6	私の家族を支える	support my family	12	病気になる	get sick

Level 1

(1) 地球は太陽の周りを回っている。 **The Earth goes around the Sun.**

［別解］The Earth revolves around the Sun.　× turn around「振り向く」は S 自身が軸となって回る。

□「地球は太陽の周りを回る」などの〈変わらない事実や真理〉を表す文では，現在形を用いるのが普通。

(2) 子どもはよく風邪を引く。 **Children often catch colds.**

［別解］Children often come down with colds.　△ children を kids で表す(口語)。　△ get a cold / get colds (口語)

□ この「子ども」は一般論なので，無冠詞複数形 children を用いる。

(3) ケンはふだん自転車で通学している。 **Ken usually goes to school by bike.**

［別解］Ken usually rides his bike to school. / Ken usually bikes to school.　× by a [his] bike は不可 →〈by＋無冠詞の交通手段〉

□「ふだん〜している」とあるので〈現在の習慣〉だとわかる。よって現在形を用いる 1-1。× 進行形 is going は不可。

(4) 小学生の時，１年間東京に住んでいた。 **When I was in elementary school, I lived in Tokyo for a year.**

［別解］When I was an elementary school student, I lived in Tokyo for one year.　*one (2 や 3 ではなく 1 だと強調)も可。

□「小学生の時」という過去の時点のことなので，現在完了形ではなく過去形を用いる 7-2。

(5) ホテルに着いたらメッセージを送ります。 **I will send you a message when I get to the hotel.**

［別解］I will text you when [after] I arrive at the hotel.　*after … は「着いて少し経ったら」の含みあり。

□〈未来の事柄〉を表すので will を用いる。when 節(副詞)では will を用いずに現在形で表す 27。× when I will get to 〜

Level 3

新出文法のニュアンスまで丁寧に解説。別解やよくあるミスも提示し，生徒の表現力を確かなものにします。

(1) 母はネットでよく映画を見ている。

［別解］My mother often streams movies (online).　*stream「〜をストリーミング再生する」

□「よく〜している」は〈現在の習慣〉を表すので，現在形で書く 1-1。　□「〜をネットで見る」watch 〜 online

(2) ペットの世話は簡単ではない。 **Caring for pets is not easy.**

［別解］Taking care of [Looking after] pets is not easy. / It is not easy to care for pets.

□ 主語の動名詞(句)は 3 人称単数扱い 1-3 → is にする。　□「ペットの世話」は「ペットを世話すること」と日本語を補う。

(3) ビニール袋が環境を破壊している。

［別解］Plastic bags damage [have damaged] th

□ この場合の「〜している」は，話者の意図

または現在完了形(過去から現在まで影響が

□「環境」the environment は，「地球や自然全体

文末の小さな数字（例 1-3）は，Vision Quest Insight で同じ文法項目を扱う問題の番号です。あわせて参照すると理解が深まります。

(4) ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。 **Our way of life has changed a lot in the last few decades.**

［別解］Our lifestyles have changed dramatically over the past few decades. ← より硬い表現(lifestyles や dramatically)。

□「ここ数十年で〜変わった」という現在に焦点がある完了・結果を表す場合は，過去形ではなく現在完了形を用いる 12。

□「ここ数十年で」は〈in [over]＋期間〉を用いる。完了・結果を表す文では〈for＋期間〉は不可(継続を表す文なら可)。

(5) ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。 **Robots will make our lives easier.**

［別解］Robots will make our lives more convenient [comfortable].

□〈未来に起こると予想される事柄〉を表すので will を用いる 9-1。　□「S は O を C にする」は S make O C 592。

□「より便利にする」→「より楽にする」と考えて，easy「楽な」の比較級を使う。日本語のとおり convenient「便利な」を使ったり，comfortable「快適な」を使ったりしてもよい。convenient は「便利さや効率性」を強調，comfortable は「快適さや心地のよさ」を強調する。make O C の構文では，O＝C の関係になる。our lives are easy という関係。

Level 4 Unit 1

(1) 私が大学生のころ，アパート暮らしの友人が何人かいた。

When I was in college, some of my friends lived in apartments.

［別解］When I was a university student, some of my friends lived in apartments. △ there were some friends who ～は冗長。

□ 過去の時点のことなので過去形を用いる。 □ my friends が複数形なので，apartments も複数にそろえるのが自然。

□「アパート暮らしの友人が何人かいた」→「何人かの友人がアパートに住んでいた」と言いかえる。

□「V する人がいる〈一般論〉」は some people V で表す。「～する友人が何人かいる」は some of my friends V となる。

(2) 科学は，私たちの日常生活を安全で，便利なものにしてきた。

Science has made our daily lives safer and more comfortable.

［別解］Thanks to science, our everyday lives have become safer and more comfortable. ← 若干，口語的(thanks to [1331])。

□ 日常生活は元々ある程度安全で快適(≒便利)だったと考えられるので，比較級(safer と more comfortable)を用いる。

□「科学」は無冠詞単数形 science。 □「日常生活」daily lives / everyday lives *1 語の everyday は形容詞。

(3) 兄は，毎日，駅前のスーパーでアルバイトしている。

My brother works part-time at a supermarket near the station every day.

［別解］My brother has a part-time job at the supermarket across from the station every day.

□「毎日～している」とあるので現在形を用いる [1-1]。2 語の every day は副詞(主に動詞を修飾する)。

□「アルバイトをする」は work part-time / have a part-time job。前者の part-time は副詞，後者は形容詞で job を修飾。

□「駅前」を in front of the station とすると「(道などを挟まずに)駅の目の前」。across from ～ [731]「～の向かい側に」

(4) SNS 上のコミュニケーションは，われわれの関係に変化をもたらした。

Communicating on social media has changed our relationships.

［別解］Communication on socia

□「SNS」は英語では social med

□「人間関係」relationships

難解な長い日本語の攻略プロセスを解説。文構造を読み解いて「確実に書ける」という体験が，生徒の大きな自信を育みます。

(5) 異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ，私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいる。

Some people predict that, if we do not take immediate action against extreme weather, our environment will get even worse.

［別解］Some people expect that our (living) environment will continue to worsen unless we take action immediately to address extreme weather.

□ 長い文は節で区切ろう：主節「～と予測する人がいる」，従節①「私たちの～だろう」，従節②「異常気象に～なければ」。

□「生活環境」→「環境」environment *living environment「住環境」 □「SV と予測する」predict / expect (that) S＋V

□「異常気象に対して」against extreme weather

*address「(問題など)に対処する」を使って，「異常気象に対処するために」to address extreme weather と言いかえ可。

□「行動を起こす」t

□ if we do not take a

□「悪化する」は w

解説で理解した表現を「基礎トレ」で練習。入試の和文英訳に必須となる重要フレーズを確実に定着させ，「使える武器」へと変えていきます。

基礎トレ **読んで終わりにしない。「書ける！」を増やして力を伸ばそう。**解答は本冊 p.114(Unit 1)を参照。

1	私が大学生の頃		7	我々の人間関係	
2	Vする人がいる *一般論		8	A に変化をもたらす	
3	科学のおかげで		9	SNS 上の/で	
4	私たちの日常生活		10	私たちの生活環境	
5	駅前の/で		11	A に対して行動を起こす	
6	アルバイトをする		12	悪化する	

Level 5 Unit 1

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples.
"What have you enjoyed about high school?"

STEP 1 I (1) [ア enjoyed / イ have enjoyed / ウ will enjoy] my time at high school thanks to my good friends. (2) 文化祭の前に，私たちは一緒に教室の飾り付けをしました and had a great time. Also, we sometimes (3) _____ after school. These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.

(1) **イ have enjoyed**

□ "What have you enjoyed ～?"と聞かれているので，時制をそろえて I have enjoyed ～.と答える。

(2) **Before the school festival, we decorated our classroom together**

［別解］We decorated our classroom together to prepare for the school festival

□「文化祭の前」という過去の一時点のことなので，過去形(decorated)で表す。 □「文化祭」the school festival

□ decorate＋場所で「場所を飾り付ける」。「教室を飾り付ける」decorate our classroom × decorated in the classroom

□「一緒に」together は副詞。× with のみは不可。

(3) Also, we sometimes **went shopping in the mall** after school.

［別解］hung out at a café[66] / went to the movies / went to see a movie / played video games at my house

□ 過去形で文が続いてきているので，ここでも過去形を用いるのが自然。

□ 直後の文に enjoyable とあるので，学校内や放課後に楽しんで行えるような活動を書く。

(4) 次の［完成したモデル解答］を，意味を確認しながら読みなさい。

【主張[結論]】I have enjoyed my time at high school (thanks to my good friends).
S V O ～のおかげで

【具体化①】 (Before the school festival,) we decorated our classroom together and had a great time.
S V O V O

【具体化②】 Also, we sometimes went shopping (in the mall) (after school).
また S V

【まとめ】 These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.
S V O C

STEP 2

［高評価の解答・コメント］

I ①have enjoyed my time at high school because I have great friends. ②Before exams, we ①studied hard together and ①②encouraged each other. We also ①②went to karaoke after school. These experiences ①have made my high school life ③rewarding.

□ ① 時制を的確に使って

□ ② 具体性があって良い。

高評価の解答ともう一歩の解答を比較解説。「なぜ減点されるのか」を考えさせることで，客観的な自己添削力を養います。

［もう一歩の解答・コメント］

I ①enjoyed (→ have enjoyed) high school. I ①had (→ have) some good friends, and we sometimes study together ②for exams. Also, we ①had (→ have) lunch together and talk a lot during lunchtime. These things make me feel happy.

□ ① 時制の誤り：現在の状態や，現在も行う行動は現在形で表す。1文の中で複数の時制を織り交ぜない。
時制の誤りは読み手に混乱(誤解)を与える可能性が大きい。

□ ② 具体性があって良い。

対訳リスト（Level 3・Level 4）

解答解説でポイントを理解したら，反復練習で自動化しよう。必ず理解してから覚えること！

①	Unit-大-(小)	日本語		英 語
1	1-3-(1)	母はネットでよく映画を見ている。	□□□	My mother often watches movies online.
2	1-3-(2)	ペットの世話は簡単ではない。	□□□	Caring for pets is not easy.
3	1-3-(3)	ビニール袋が環境を破壊している。	□□□	Plastic bags are damaging the environment.
4	1-3-(4)	ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。	□□□	Our way of life has changed a lot in the last few decades.
5	1-3-(5)	ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。	□□□	Robots will make our lives easier.
6	1-4-(6)	私が大学生のころ，アパート暮らしの友人が何人かいた。	□□□	When I was in [at] college, some of my friends lived in apartments.
7	1-4-(7)	科学は，私たちの日常生活を安全で，便利なものにしてきた。	□□□	Science has made our daily lives safer and more comfortable.
8	1-4-(8)	兄は，毎日，駅前のスーパーでアルバイトしている。	□□□	My brother works part-time at a supermarket near the station every day.
9	1-4-(9)	ソーシャルメディア上のコミュニケーションは，われわれの関係に変化をもたらした。	□□□	Communicating on social media has changed our relationships.
10	1-4-(10)	異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ，私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいる。	□□□	Some people predict that, if we do not take immediate action against extreme weather, our environment will get even worse.
11	2-3-(1)	英語は第二言語として多くの国で教えられている。	□□□	English is taught as a second language in many countries.
12	2-3-(2)	近い将来，多くの仕事が人工知能に取って代わられるのだろうか。	□□□	Will many jobs be replaced by AI in the near future?
				s concert was put off because of bad weather.
				is known to children around the world.
				re you born and raised?
16	2-4-(6)	今年は，様々な国際的なスポーツ競技会が日本で開催されます。	□□□	Various international sports competitions are going to be held in Japan this year.
17	2-4-(7)	ほとんどの洋服は結局ゴミとして廃棄されてしまう。	□□□	Most clothes are eventually thrown away as trash.
18	2-4-(8)	この植物は，その島の先住民によって伝統医療に使われている。	□□□	This plant is used in traditional medicine by the island's native people.
19	2-4-(9)	ほめられると，人って明らかに表情がよくなって自信に満ちあふれた顔になる。	□□□	When you are praised, you look happier and more confident.
20	2-4-(10)	人間による自然の技術的支配の深化とともに文化的多様性は失われつつあり，	□□□	as humans increasingly control nature with technology, cultural diversity is being lost
21	3-3-(1)	環境のために何をすべきだろうか。	□□□	What should we do for the sake of the environment?
22	3-3-(2)	私たちは台風のため体育祭を延期しなければならなかった。	□□□	We had to put off the sports festival because of the typhoon.
23	3-3-(3)	その話は本当ではないかもしれないが，多くのクラスメイトが信じている。	□□□	The story may not be true, but many of my classmates believe it.
24	3-3-(4)	先生方が走っている。何か悪いことが起こったのかもしれない。	□□□	The teachers are running. Something bad might have happened.
25	3-3-(5)	テスト勉強を頑張っておくべきだった。	□□□	I should have studied harder for the test.

入試頻出テーマを含む，Level 3 と Level 4 の和文英訳の対訳リスト。チェックを付けながら，瞬時に言える・書けるまで反復し，実戦的な英作力を身につけます。

Level 5 解答用紙　Unit 1

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples. “Have you enjoyed your time at high school? Why or why not?”

Level 5 の自由英作文について，自己評価用の簡易ルーブリック付き解答用紙をご用意。「何を意識して文章を組み立てるか」が可視化され，アウトプットの質が高まります。

「語数・文法・論理構成」の 3 観点で到達度を見える化。生徒が自らの答案を客観的に評価し推敲することで，次のライティングの課題が明確になります。

簡易ルーブリック（自己評価用）

目的：評価項目を意識しながら答案を見直すことで，文法力とライティング力を高める

評価	語数	文法・語法	論理・構成
A	□ 指定語数を満たしている（30 語以上）	□ 現在完了形や現在形，過去形などを適切に 2 回以上用いている	□ 自分の感想とその説明が別の角度から 2 つ以上述べられている
B	□ 指定語数を満たしていない	□ 現在完了形を用いている	□ 自分の感想とその説明が 1 つ以上述べられている
C	□ 白紙答案である	□ 時制ミスが 3 つ以上ある	□ 自分の感想や説明が述べられていない

年　　組　　番　氏名

Unit 3〜20 簡易ルーブリック（自己評価用）

以下に，Unit 3〜20 の簡易ルーブリックをまとめました。ぜひ活用してください。

自己評価用の簡易ルーブリックを使用する目的は，
「**評価項目を意識しながら答案を見直すことで，文法力とライティング力を高める**」ことです。

初めのうちは，書いた後にルーブリックの評価項目をチェックしてみましょう。
慣れてきたら，書く前や書いている途中にもルーブリックを確認し，より良い答案を書けるようにしましょう。

大事なことは，「何も考えずに書かないこと」，「書きっぱなしにしないこと」です。
「今回の自由英作文では，〇〇を意識して書こう！」という目的をもって練習を重ねることで，力は効果的に向上していきます。

特に，ライティング力を高めるためには，全体の流れを意識しながら，文と文のつながりを考え，それぞれの文に役割をもたせることが大切です。必ず「論理・構成」を意識して書いてください。

一方で，通常，自由英作文では特定の文法・語法が評価の対象になるとは限りませんが，ここではあえて，それらも評価項目に含めています。新しく学習した文法・語法を意図的に使うことで，その定着を促すためです。ぜひ積極的に使い，間違いを修正しながら，正確に使える表現として身につけていきましょう。

3 簡易ルーブリック（自己評価用）

評価	語数	文法・語法	論理・構成
A	□ 指定語数を満た (60±1 割＝54〜		
B	□ 指定語数を満た		
C	□ 白紙答案である	□ 助動詞を用いていない	□ 自分の意見や理由が述べられていない

「アウトプット → 自己評価」のサイクルを習慣づけて，入試を突破できる英作力を養います。到達目標が可視化されるため，生徒の学習モチベーションの維持にも役立ちます。

4 簡易ルーブリック（自己評価用）

評価	語数	文法・語法	論理・構成
A	□ 指定語数を満たしている (40〜50 語)	□ 仮定法(if 節などの条件や助動詞の過去形)を適切に2回以上用いている	□ 自分の意見とその理由が別の角度から2つ以上述べられている
B	□ 指定語数を満たしていない	□ 仮定法を用いている	□ 自分の意見とその理由が2つ述べられている
C	□ 白紙答案である	□ 仮定法を用いていない	□ 自分の意見や理由が1つしか述べられていない

◀ 指導用データの
サンプルはこちら

啓林館

本 社	〒543－0052 大阪市天王寺区大道４丁目３番25号	TEL (06) 6779－1531
東京支社	〒113－0023 東京都文京区向丘２丁目３番10号	TEL (03) 3814－2151
北海道支社	〒060－0062 札幌市中央区南二条西９丁目１番２号 サンケン札幌ビル１階	TEL (011) 271－2022
東海支社	〒460－0002 名古屋市中区丸の内１丁目15番20号 ie丸の内ビルディング１階	TEL (052) 231－0125
広島支社	〒732－0052 広島市東区光町１丁目10番19号 日本生命広島光町ビル６階	TEL (082) 261－7246
九州支社	〒810－0022 福岡市中央区薬院１丁目５番６号 ハイヒルズビル５階	TEL (092) 725－6677

本書と併用して使用できる
啓林館の「文法・語法・熟語 問題集」



Vision Quest Insight
英文法・語法・熟語 問題集

Point 1

生徒が興味をもち，入試に役立つ英文

- 入試や英検での頻出トピック（環境問題や時事問題等）
- 自由英作や英検の二次試験で，生徒が発信活動に使える英文を多数収録しているため，スピーキングやライティングに即活用できます。

Point 2

文法・語法・熟語が定着する問題形式・演習量

- 問題形式は，「空所補充」「部分英訳」「並べ変え」の3種類で，各文法項目を理解・アウトプットするために最適な問題形式をそれぞれ採用しています。
- 予備校講師と進学校教員が入試傾向を徹底分析し，最新の入試で扱われている項目を精選しています。

Point 3

『Vision Quest 総合英語／Ultimate』とのリンク

- 『総合英語』のFocus番号を記載し，つまずいた箇所はすぐに確認できます。
- 『総合英語』からのスムーズな導入で，２年生の始めから使える「入試対策問題集」です。

※著作権法上の例外を除き，複製・公衆送信等を行うことを禁ずる。
※QRコードは，株式会社デンソーウェーブの登録商標です。